

LA VIDA EN MÉXICO

～メキシコでの最後の一ヶ月～

TAKU MINAGAWA Vol.11

□メキシコ研修最後の一ヶ月

6月末に全ての学校の授業が終わり、7月は今回のメキシコ研修最後の休み期間となりました。学校が終わった後も引き続きバラガン財団でのボランティアは続け、また最後にいくつかの旅行をしました。

□バラガン財団でのガイドで学んだこと

学校に通いながら約4か月に渡って足を運び、ガイドを続けたバラガン財団での経験は非常に有意義なものでした。財団は世界遺産に登録されているルイス・バラガンが生涯住んだ自邸と仕事場ですが、訪れる度に新しい空間の発見がありました。同じ空間でも時間帯によって、天候によって光の入り方が変化し、それにより私たちの空間の感じ方は大きく変わります。バラガンの空間で見える光景は非常に美しく、時に人間存在の豊かさを感じるほどに胸を打つものでした。

またスペイン語でのツアーを行う中で、『次はこうしよう』、『より空間の魅力を伝えられる様にこう説明しよう』、と言うように工夫をすることで、バラガンに対する知見や、よりスペイン語を実践的に話す力を身につける事ができました。



〔静寂さと美しさを感じるバラガンの空間〕



〔ガイドを行う筆者〕

毎日世界中から観光客が訪れ、そして日本人も多く訪れるバラガンの建築ですが、何故こんなに評価されるのでしょうか？バラガン邸でのガイドを通じて気付いたこと、それは、バラガンの空間に身を置くと、色彩や光を通じてメキシコらしさやアイデンティティを感じる事ができること、そして誰もが感動し、共感できる普遍的な美しさがあることが言えます。また私たち日本人がとりわけ共感できる感覚として、バラガンの空間には日本の伝統建築の様な光の陰影があり、豊かな自然(=庭)との関係性を感じる点があります。バラガンは日本には旅行したことはありませんでしたが、書籍を通じて日本建築や、日本庭園を研究していたのは大変興味深い点です。



〔屋上にあるテラス〕

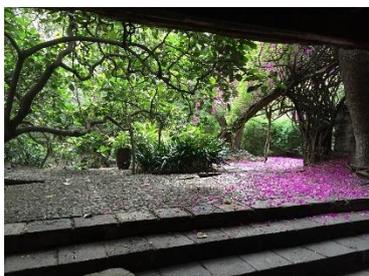
LA VIDA EN MÉXICO

～メキシコでの最後の一ヶ月～

TAKU MINAGAWA Vol.11

□翻訳活動

バラガンの建築はメキシコ・シティにいくつかあるのですが、その一つの住宅を訪れた際、オーナーであるオルテガ氏に依頼を頂き、その住宅の解説資料を日本語に翻訳させて頂く機会を頂きました。ボランティアでの翻訳ですが、オルテガ氏には大変喜んで頂き、頻繁に訪れる日本人観光客に向けた役立つ資料を作る事ができました。



[オルテガ邸/庭]



[オルテガ氏と]

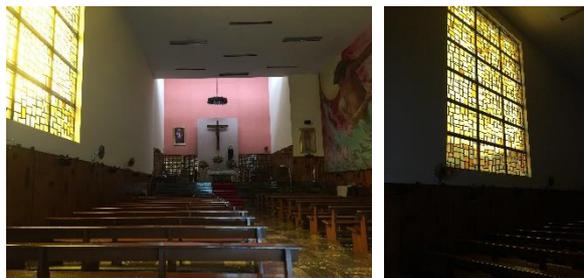
バラガンの建築は日本でも大変人気があります。今はバラガンの他の書籍の翻訳もしており、いつかこれらの資料を日本で出版したいと考えています。

□バラガン建築巡礼

今回のメキシコ滞在での最後となる旅行は、ルイス・バラガンの故郷であるグアダラハラを旅行しました。バラガンが初期に設計した住宅が多く、中でも教会は非常に美しいものでした。



[バラガンの設計した教会]



[教会の内部]

□サイタマの力!?

実は今や、“サイタマ”の名前は世界中が知る名前となっています。メキシコにいと良く「日本のどこ出身なの?」、と聞かれる事が多いですが、「埼玉です」と答えると、メキシコの友人達が、「その名前を知っている!」と喜んでくれます。実はマンガ『ワンパンマン』の主人公の名前が“サイタマ”なのですが、このマンガはアニメ化され、世界的なシェアを持つNetflixで配信されているので、サイタマは一躍世界の人が知る所の名前となっているのです。埼玉を舞台とし、世界的に放映されている「クレヨンしんちゃん」もそうですが、アニメを一つのきっかけとして埼玉と世界が繋がっていると感じました。

□研修の最後に(最終レポートに向けて)

月日が経つのは本当に早いもので、気付けば一年の研修生活も最後となりました。メキシコでの研修・滞在を振り返ってみると、学校でのスペイン語学習、メキシコ各地の旅行、メキシコでの設計活動、バラガン財団でのボランティアの経験、こちらで出会った人々との交流など、様々な思い出が呼び起こされます。これらの経験の総括を、来月に執筆する最終レポートにて報告したいと思います。